

シンポジウム「FDの学内組織化と大学間連携」

司会 及 川 恵（京都大学高等教育研究開発推進センター特定准教授）

（大塚） シンポジウムは、司会を大塚と及川の二人で担当させていただくことになっていますが、まず報告の部は及川が進行を担当させていただきます。

では及川さん、お願いします。

（及川） それでは、シンポジウムを始めさせていただきたいと思います。本日のシンポジウムは、「FDの学内組織化と大学間連携」と題して行われます。昨年からFDの法制的義務化を受け、各大学で学内組織化が進められていますが、各大学で利用可能な資源や情報は限られているのが現状であり、大学間連携など、さまざまな形でネットワークの形成も同時に進められているところです。

本日のシンポジウムでは、こうした取り組みの内容や取り組みを進めていく上での課題について、4人の先生方にご登壇いただきまして、ここ数年のFDの組織化の在り方について振り返るとともに、今後FDをどのように組織化していくのかについて考える機会としたいと思っております。

ここで、本日ご登壇いただく先生方を順番にご紹介させていただきます。

はじめに、文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長の今泉柔剛先生にご発表いただきます。今泉先生には、近年のFDの現状と課題、また、学内組織化や大学間連携を進める上で必要な条件整備や行政的支援についてお話しいたします。

続いて、実際の学内組織化及び大学間連携がどのように行われているかについて、各先生方にご発表いただきます。

まず、山形大学地域教育文化学部教授、高等教育研究企画センターの小田隆治先生には、山形大学の呼びかけで設立されました、東日本地域の広範囲の参加校から構成されるFDネットワーク、“つばさ”に関する活動や山形大学におけるFDの特色についてお話しいたします。

次に、京都大学高等教育研究開発推進センターの松下佳代先生には、京都大学で現在取り組んでおりますネットワーク形成について、特に学内と地域レベルに焦点を当ててお話しいたします。地域レベルでは、昨年4月に発足した関西地区FD連絡協議会の活動についてご報告いただきます。

最後に、島根大学教育開発センター専任講師、副センター長の山田剛史先生には、学内の組織化に焦点を当て、島根大学教育開発センターという立場から見た学内組織化の課題、また学内連携を進めるために必要な活動やセンタースタッフの役割についてご発表いただきます。

以上のように、4人の先生方には今後のFDの組織化の在り方を考えていくために大変貴重なご報告をいただけるものと考えております。各先生方には、大変短い時間で恐縮ですが、お一人20分でご発表いただきます。4人の先生方のご発表の後に、全体討論に移らせていただきます。各先生にご発表いただいている間は、私たちが下の方に降りまして、ご発表を拝見させていただきます。それでは、早速、今泉先生にご発表をお願いしたいと思います。